

企画提案書（四日市NPOセクター会議）

<b>実施地域</b> (提案する管内に、○を付けてください。複数管内で実施する場合は、主として取り組む管内に◎、他の管内に○を付けてください。)		桑名管内	○	四日市管内	鈴鹿管内
		津管内		松阪管内	南勢志摩管内
		伊賀管内		尾鷲管内	熊野管内
事業内容	<b>①課題把握</b> 実施地域におけるNPO等に対する資源循環に関する現状と課題について記入してください。	(現状) 1 資金の循環 四日市市においては、平成12年度に全国的にも先進的な「四日市市民活動ファンド」が創設され、四日市市役所内に事務局を置いて、比較的自由に使える資金として多くのNPOが資金助成を受けてきた。しかし当初から資金循環のしくみが不十分であったため次第に資金不足となり、近く閉鎖される予定である。 2 人的資源の循環 人の循環システムとして位置づけられる社会貢献型人材バンク「人財ポケットよっかいち」は、団塊の世代を中心とする地域の人的資源を地域課題の解決にマッチングさせる事業として、平成19年1月に内閣府の支援を受けて四日市NPOセクター会議が立ち上げた。現在は四日市市の委託事業となり、全国でもめずらしい市民主体の運営による活発な活動が行われている。(約250人が登録しており、のべ500人以上がNPO等の要請に応じて活動しているほか、多数の自主的な部会活動がある。) 3 物的資源の循環 物の循環としては全国的なNPOである「イーパーツ」のパソコン配布システムに四日市市なやプラザが協力しているが、地域のニーズに十分応えられていない。また事務所等の閉鎖に伴う中古物品の無料配布の申し出がありNPOに情報提供して喜ばれているが、単発的な取り組みに終わっている。 (課題) 四日市市民活動ファンドが閉鎖に至った最大の理由は、資金を使うシステムはあるが、集めるシステムが欠けていたことである。資金を集めるシステムを構築することによって、従来の市民活動ファンドのノウハウを活かした新しい制度づくりが可能である。また物的資源の循環についてはシステムとして確立していないのが課題である。			
	<b>②事業の具体性</b> ①で挙げられた課題を解決するための事業として、提案する事業内容を具体的に記載してください。	<b>【市民活動サポートバンクの設立】</b> 以下の3つのバンクによって構成される総合型資源循環システムを構築する。 1 市民活動ファンド（資金の循環システム） 給料天引き寄付、チャリティCTV、その他新しいアイディアによる資金獲得の手段を民間企業等と協働で開発し、実験的な取り組みをしながらファンド創設の原資を獲得する。 2 人財ポケット（人的資源の循環システム） 四日市市にある既存のシステムを他町にも拡大し、地域レベルの説明会等を行いながら、社会貢献型人材バンクと地域ニーズの掘り起こし（地域ニーズバンク）及び両者のマッチングの地域的拡大を図る。 3 モノバンク（物的資源の循環システム） 市民活動に役立つ中古物品などの不用品バンク、事務所や活動に役立つ格安不動産の情報などをネットワークする不動産バンクの運営を実験する。  *詳細は「市民活動サポートファンド概念図」「スケジュール表」参照			

<p><b>③事業の成果</b></p> <p>事業を実施することにより期待される成果を記載してください。</p>	<p>1 市民活動ファンド</p> <p>① 資金の循環システムについて、企業や行政等の協力により実験ができること。また実験を通じて課題を明らかにし、それに対応することができること。</p> <p>② 特に地域メディア（ケーブルテレビ、FM）との連携による取り組みは、草の根の地域活動との継続的なネットワーク形成に効果が期待できること。</p> <p>③ 2カ年度にわたる実験を通じて市民活動ファンドの原資が得られること。</p> <p>④ 事業終了時に市民活動ファンドの創設が可能であること。</p> <p>2 人財ポケット</p> <p>① 四日市市で実施しているシステムを3町に拡大できること。</p> <p>② 拡大の過程で、地域での説明会を開催し、草の根の人々や市民活動団体の方々への浸透を図ることができること。</p> <p>3 モノバンク</p> <p>① 企業、自治体等との協力により、物品、不動産の情報獲得の可能性が実験で斬ること。</p> <p>② 実験とその検証を通じ、事業終了時に実際にバンクの創設が可能であること。</p> <p>4 総合的な市民活動サポートバンクの創設</p> <p>1～3の実施により、人・金・モノの総合的な資源循環システムの創設が可能であること。</p>
<p><b>④事業の継続性・発展性</b></p> <p>委託事業終了後、どのように事業を展開していく予定か記載してください。</p>	<p><b>【市民活動サポートファンドの運営】</b></p> <p>1 専従フルタイム事務職員の設置（1名）</p> <p>2 市民活動ファンドの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金獲得活動</li> <li>・資金配分（委員会の設置と公開プレゼンテーション）</li> </ul> <p>3 人財ポケットの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録会員の拡大</li> <li>・地域ニーズの収集と会員とのマッチング</li> </ul> <p>4 モノバンクの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集とマッチング</li> </ul> <p>※詳しい計画は、様式第5号へ記載してください。</p>
<p><b>⑤事業の予算の妥当性</b></p> <p>事業に必要な経費の積算の仕方の方の考え方等について記載してください。</p>	<p>1 必要な人件費の確保</p> <p>2 チャリティイベント関係機関への予算確保</p> <p>3 広報活動の重視</p> <p>※積算根拠等詳しい内容は、様式第4号へ記載してください。</p>
<p><b>⑥事業の遂行能力</b></p> <p>提案する事業に関連して、貴団体が有する組織体制や専門性等について記載してください。</p>	<p>1 組織体制</p> <p>別添概念図参照</p> <p>2 当団体が有する専門性</p> <p>人財ポケットは当団体事業としてスタートし、現在も当団体事務局を担う市民社会研究所が実施している。人材獲得やマッチングについて豊かなノウハウと経験を有する。</p> <p>また当団体のうち3団体が四日市市なやプラザ（市民活動センター）を指定管理しており、市民活動団体の情報量や便宜供与について専門性が高い。</p> <p>※事業実施組織体制図を、記載または添付してください。</p>

事業計画書

提案する事業について、いつごろ、どんなことを実施するのか、想定していることを記載してください。  
平成23年10月1日～平成24年3月31日

年月	平成23年度取組内容
23年10月	市民活動サポートファンド企画委員会（以下「企画委員会」）の立ち上げ
11月	給料天引き寄付制度導入の協議開始（銀行、企業、自治体等）
	24時間チャリティTVの協議開始（CTV、エフエム等）
	菰野・川越・朝日各町との人財ポケット拡大について協議開始
	不用品、遊休地等の情報収集について自治体（自治体、企業等）
24年 2月	第2回企画委員会（進捗状況報告・協議）
3月	チャリティカラオケ大会実施／各種検討結果の報告
	モノバンクの登録
達成目標	
<p>■平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。</p> <p>①チャリティカラオケ大会によるファンド原資獲得</p> <p>②不用品・遊休地等の物件登録</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標</p> <p>項目①（ファンド原資獲得額） 目標値（ 50万円 ）／現状（ 500万円 ）</p> <p>項目②（不用品・遊休地等の物件登録数） 目標値（ 30件 ）／現状（ 150件 ）</p>	

平成24年4月1日～平成25年3月31日

年月	平成24年度取組内容（予定）
24年4月	第3回企画委員会（平成24年度の事業計画協議）
	ファンド、人財ポケット、モノバンクのパンフ・ホームページ作成
	給料天引き寄付のモデル実践（～12月 ファンド原資獲得）
	多様な資金獲得手法の開発と実践（～12月 ファンド原資獲得）
5月	人財ポケットの地域への説明会（～8月 四日市、菰野、川越、朝日）
8月	第4回企画委員会（経過報告、事業協議）
9月	24時間チャリティテレビ実験放送（ファンド原資獲得）
	人財ポケットマッチング・体験者アンケート実施（～12月）
12月	第5回企画委員会（経過報告、事業協議）
25年 1月	新春チャリティカラオケ大会（ファンド原資獲得）
	アンケート等の分析
2月	第6回企画委員会（事業の検証、今後の取り組みの検討）
3月	市民活動サポートファンド設立
成果目標	
<p>■平成24年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。</p> <p>①チャリティカラオケ大会によるファンド原資獲得</p> <p>②不用品・遊休地等の物件登録</p> <p>③人財ポケット登録と地域ニーズとのマッチング</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標</p> <p>項目①（ファンド原資獲得額） 目標値（ 450万円 ）／現状（ 500万円 ）</p> <p>項目②（不用品・遊休地等の物件登録数） 目標値（ 120件 ）／現状（ 150件 ）</p> <p>項目③（人財ポケット登録者数） 目標値（ 100人 ）／現状（ トータル350人 ）</p> <p>項目④（人財ポケットマッチング件数） 目標値（ 50件 ）／現状（ トータル350件 ）</p>	

## 委託事業終了後の計画

今回の委託事業での成果を踏まえて、平成 25 年度以降にどのような事業展開をしていくのか。具体的な取組内容等を記載してください。

## ① 取組内容

## 【市民活動サポートファンドの運営】

- 1 専従フルタイム事務職員の設置  
(四日市市、菰野町、川越町、朝日町の委託事業を検討したい)
- 2 市民活動ファンドの運営
  - ① 資金獲得活動：給与天引き寄付の継続・拡大  
企業との連携による各種イベントの実施等
  - ② 資金配分：資金配分委員会(独立性確保)の設置と公開プレゼンテーションの実施。  
終了議は公開報告会の実施。
- 3 人財ポケットの運営
  - ① 登録会員の拡大
  - ② 地域ニーズの収集と会員とのマッチング
- 4 モノバンクの運営
  - ①情報収集とマッチング